

山川里海情報交流会

そろそろ真剣に向き合ってみませんか!?—“次世代”からのメッセージ

環境団体や地域づくりのミッションは、持続可能性をめざす息のなが〜い取り組み。そのためには志を『つなぐ』視点が大切ですね!? しかしこれまで、バトンを渡される側の声を聴いたことはありますか…? そこで今回は、特別企画『何を想う? イマドキの大学生』を設けました。あなたの活動に「若者がきてくれない〜!」と嘆く前に、未来を託される側の声に耳を傾けてみませんか。

【基調講演】

10:40-11:30

「ブルーカーボンと世代を超えた取り組みについて」

講師 木村 尚 氏 (NPO法人 海辺つくり研究会 理事・事務局長)

【次世代がつくるワークショップ】

11:40-〈ランチミーティング〉-14:30

「何を想う? イマドキの大学生」

昼食をご持参いただき、グループでのランチミーティングをお薦めします!

【テーマ別分科会】

14:45-16:30

「とにかくお話」—あなたはこの日、何人と語り合えますか?

ワールドカフェ風の交流タイム。自分のフィールドで何が活かせるのか?

参加者同士語り合い、たくさんの収穫を持ち帰りましょう。

《テーマ》『エネルギー』『まちづくり』『つくる責任 つかう責任』

『気候変動・災害』『海の豊かさ』『陸の豊かさ』など

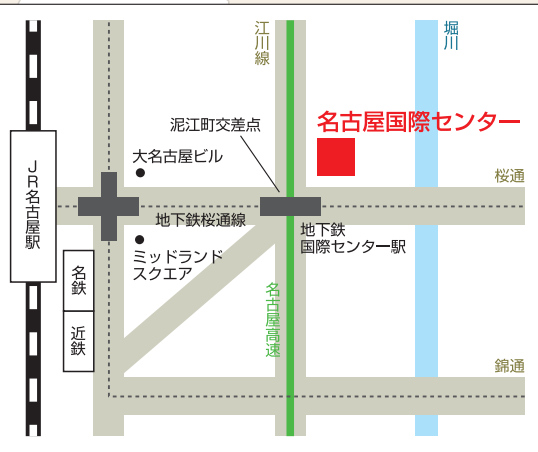
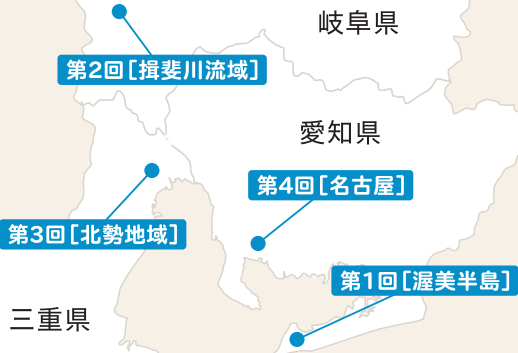
【懇親会 (軽食と飲み物で)】

17:30-19:00

【対 象】環境市民活動団体、持続可能な地域づくり、地域活性化に関心のある人、団体など

【参加費】一般2,000円、学生500円(予定) ※資料代+懇親会費用 ※昼食はご持参ください

「豊かな自然を活かすネットワーク」
交流会は今年で4回目!



【会場案内】名古屋国際センター5F 第一会議室

◎名古屋駅から東へ徒歩7分
地下街「ユニモール」を直進。地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

◎地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ
名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

そろそろ真剣に向き合ってみませんか!?
—“次世代”からのメッセージ



いのちの循環
流域思考でつながろう!

情報交流会

2019.2.23 土

名古屋国際センター 5F
第一会議室

基調講演



「ブルーカーボンと
世代を超えた取り組みについて」

講師 木村 尚 氏
(NPO法人 海辺つくり研究会 理事・事務局長)

海辺つくり研究会理事他、東京湾を子どもたちが泳げる豊かで美しい海にしたいと考え、環境やまちづくりに関連する多数の市民活動に協力。主な著書は『海辺の達人になりたい』(共著)、『森里川海をつなぐ自然再生』(共著) など。現在、日本テレビ系列「THE! 鉄腕! ダッシュ!!-ダッシュ海岸-」にレギュラー出演中。

10:30-19:00 (受付開始 10:00)

懇親会 (軽食付き) 17:30-19:00

【お問い合わせ・お申込み】

NPO法人 地域の未来・志援センター

プログラム内容は中面、タイムスケジュールは裏面をご覧ください

参加費確認のため、裏面「参加申込書」をお忘れなく!

【主催】NPO法人 地域の未来・志援センター、一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
【共催】22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、森と水辺の技術研究会
【協力】愛知・川の会、渥美半島環境活動協議会、西濃環境NPOネットワーク、東海市民社会ネットワーク、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、NPO法人 四日市ウミガメ保存会
【後援】愛知県、岐阜県、三重県、環境省中部地方環境事務所



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

本交流会は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成で開催いたします

参加申込書 参加ご希望の方は下記必要事項をご記入の上、お申し込みください。

① 申込フォーム (こくちーず) →
<https://kokucheese.com/event/index/548175/>

② 郵送

③ FAX

④ Eメール のいずれかで、

2月20日(水)まで にお申し込みください。



お問合せ・参加申し込み

NPO法人 地域の未来・志援センター

〒461-0002 名古屋市東区代官町 39-18

日本陶磁器センタービル5階 中部リサイクル運動市民の会内

TEL: 052-936-3213 / FAX: 052-982-9089

(電話受付時間 10:00 ~ 17:00 ※土・日曜日を除く)

E-mail: office@c-mirai.org

ホームページ: <http://www.c-mirai.org/>

チェックをお願いします ☐ 一般 2,000円 ☐ 大学生 500円

本企画の情報はどこから入手しましたか? (団体名など))

どのような形で入手しましたか? ☐ ホームページ ☐ ダイレクトメール ☐ メーリングリスト ☐ チラシ ☐ その他 ()

お名前 (フリガナ) ご住所 (市または町までで構いません)

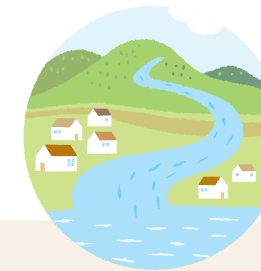
TEL FAX

E-mail 所属団体・会社

FAX 先 052-982-9089

※いただいた個人情報は、NPO法人地域の未来・志援センターのセミナー・助成金などのご案内・ご連絡に使用させていただきます。

『担い手』は、どうしたら現れるのか？ 東京湾再生で知られるNPO法人海辺つくり研究会から学び 「次世代」の声を聴いてみよう！



次世代がつくるワークショップ

何を想う？ イマドキの大学生

『22世紀奈佐の浜プロジェクト・学生交流会』メンバーを中心に、下図のステップを経て考え抜いた提案、そしてメッセージを共有します。漂着ゴミやマイクロプラスチック問題を解決するには？陸の豊かさ、海の豊かさを守るには？若者たちが自らの未来について語り合った内容をもとに、参加者同士が対話するワークショップです。



岐阜大学、四日市大学、中部大学を中心とした今年度の学生交流会メンバー。
他の大学からの参加も大募集中です！



【前半】11:40-12:30〈ランチミーティング〉
【後半】13:30-14:30

漂着ゴミは多種多様。写真はボロボロになった
発泡スチロールと流木



テーマ別分科会

「とにかくお話」 ——あなたはこの日、何人と語り合えますか？

14:45-16:30

木村氏の講演や「次世代がつくるワークショップ」の内容を「SDGs」に絡めてピックアップ。『エネルギー』『働きがい』『まちづくり』『つくる責任 つかう責任』『海の豊かさ』『陸の豊かさ』『気候変動・災害』等のテーマについて、4人程度の小グループで思いっきり語り合いましょう！ 3ラウンドほどを想定しています。



新たなチャレンジ！ 『SDGs&流域思考による 未来創造プログラム』

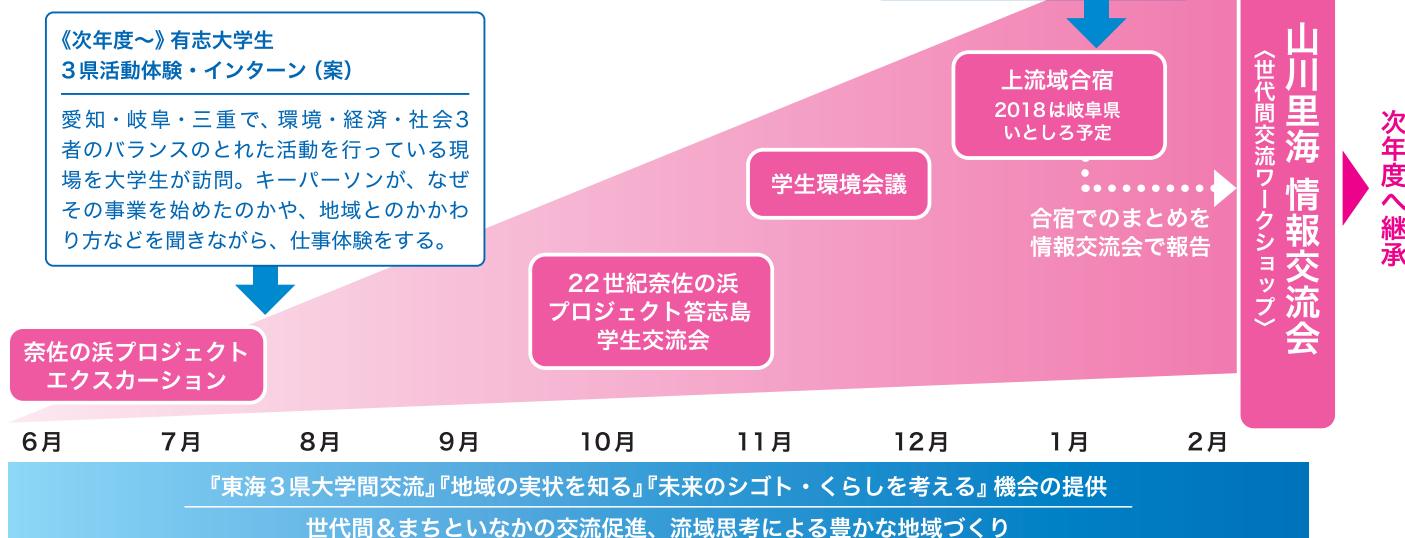
『愛・地球博』～『COP10』（生物多様性条約締結会議）～『ESDユネスコ会議』を経て、東海3県の環境活動、持続可能な地域づくりを目指す活動は新たな時代を迎えています。その先駆けが「22世紀奈佐の浜プロジェクト」です。本プロジェクトで生まれた若者の自発的な活動を、さらに後押しするのが「SDGs&流域思考による未来創造プログラム」。パートナーシップによる持続可能な地域づくりの市民提言「伊勢湾イニシアティブ」の実現を目指します。

今年度の情報交流会は、 左記流れの総仕上げ！

環境活動の中間支援組織である地域の未来・志援センターでは、2013～2017年にかけ環境NPOヒアリング調査を実施。そこで訪問したいずれの団体からも「活動者の高齢化」「新しい人が入らない」「活動がひろがらない」という悩みを伺いました。それら課題に対し、世代間交流や若者の活動支援を行う新たな取り組みを開始します。

『SDGs&流域思考による 未来創造プログラム』 1年の流れ

本プログラムは、「学生交流会」「環境学生会議」「上流域合宿」「情報交流会」等の企画・運営に実際に携わる中で視野を広げ、学びを深めるものです。
その活動費（主に旅費交通費）を補助します。（主な対象：大学生）



〈22世紀奈佐の浜プロジェクト〉とは？

2011年、三重県の環境団体からの漂着ゴミSOS発信がきっかけで、3県がともに『流域思考』で地域の豊かな未来をつくろうと始まったのが「22世紀奈佐の浜プロジェクト」です。この7年間に伊勢・三河湾の漂着ゴミが大量に流れ着く答志島で3県合同清掃活動8回、上流域エクササイズを6回実施。22世紀へ向け、次世代へ志をつなぐ試みが始まっています。今年12月には『第11回 いい川・いい川づくりワークショップin北海道十勝』に出場、36団体エントリー中、準グランプリを受賞！



漂着ゴミや流域思考を学ぶ勉強会
（答志島にて）



2012年から毎年、鳥羽市答志島へ
の一斉清掃活動を実施

〈伊勢湾イニシアティブ〉とは？

2016年5月、東海のNGO、NPOが共同で『市民の伊勢志摩サミット』を開催。力強い市民社会創造に向けて、人権・環境・教育等の幅広い分野について話し合いを行い、SDGsに関連する16の提言を行いました。その中の一つ、環境分科会では、日本人が培ってきた自然の恵みを循環させる知恵、トータルな視点で豊かさを享受する暮らし方を『流域思考』と呼び、その理念を発展させる「伊勢湾イニシアティブ」を起草・発信。その実現を確認しあいました。



『市民の伊勢志摩サミット』には東海3県のみならず、全国から多くの市民が参加



『伊勢湾イニシアティブ』を発表